

## 一般動詞

「一般動詞」とは、be 動詞とは違い人やものの具体的な動作を表す言葉のことです。

一般動詞は、主語が **1 人称単数 (he, she, it)** の場合、動詞の後に **"s"** や **"es"** がついたり、形が変わったりします。(現在形で、肯定文の場合)

### 一般動詞の種類

一般動詞の中には、目的語(O)をとらないと文章を完成できない動詞 **「他動詞」**と

目的語(O)を必要としない動詞 **「自動詞」**とがあります。

いくつか代表的なものをあげてみましょう。

#### 他動詞

have (～を持っている)      eat (～を食べる)      buy (～を買う)  
play (～をする)              like (～を好む)      make (～を作る)  
want (～が欲しい)            know (～を知っている)      ...etc

例文)

I have a car. (私は車を持っています。)

She likes dogs. (彼女は犬が好きです。)

They know everything. (彼らは全部知っています。)

#### 自動詞

come (来る)                      arrive (着く)              go (行く)  
stay (とどまる)                  live (住む)                  ...etc

\* これらの動詞を使った文章では、副詞の働きをする、場所や時を現す **修飾語句** が数多く用い

られますが、これらは目的語ではありません。

例文)

I live in Osaka. (私は大阪に住んでいます。)

He comes to his office at 9 every day. (彼は毎日 9 時に事務所に来ます。)

We go to school by bus. (私達はバスで学校に行きます。)

その他、**名詞(S)**や**形容詞(C)**を必要とする動詞も、自動詞の中に含まれます。

feel (～と感じる)                      get (～になる)                      become (～になる)

look (～に見える)                      seem (～のようです)                      smell (～のにおいがする) ...etc

ちなみに be 動詞 (～です) も自動詞ですが、一般動詞ではありません。

例文)

He gets angry very quickly. (彼はすぐ怒ります。)

Kaori looks happy. (カオリは幸せそうに見えます。)

It smells delicious. (それはおいしそうなおいがします。)

### 3 単現の“s”

先にも少しご紹介した通り、一般動詞は、主語が3人称単数で現在時制の文章の場合、動詞の後ろに“s”や“es”をつけたりします。この“s”のことを、3単現の“s”といいます。

現在時制の文は、○現在の動作や状態 ○習慣的な動作 ○一般的な真理 を表すものと考えます。

主語が「3人称」

主語が「単数(1人・個)」

主語が「**3**人称」

→**3** サン

主語が「**単**数(1人・個)」

→**単** タン

**現**在時制の文

→**現** ゲン

の“s”

## 現在時制の文

さて、この3単現の“s”には、ちょっとしたルールがあります。

ふつう動詞に“s”をつけるのですが、

動詞の最後が「**s / sh / ch / o**」で終わるものには**“es”**

動詞が「**子音+y**」で終わるものは **y** を **i** にかえて**“es”**をつけます。

また、have は has という形に変わります。

例)

like ⇒ likes      play ⇒ plays      get ⇒ gets

teach ⇒ teaches      go ⇒ goes      study ⇒ studies

have ⇒ has

例)

My friend plays video games every day. (私の友達は毎日テレビゲームをします。)

Akio studies very hard. (アキオはとても一生懸命勉強します。)

It looks like rain. (雨が降りそうです。)